

松山涼子さん
(育児サークル「のびのびキッズ」)

「子育てを通して、
ふるさとの未来を考えていきたい」

子育ては、平戸の将来を担う人を育てているんだという広い目を持って取り組んでいます。平戸は、外から見たときに、人間としてとても落ち着ける場所です。また、都会と違って何もかもが身近に体験できますので、子育てにも最適な土地柄だといえます。今のお母さんたちはさまざまなことを教えられなくなっています。お母さんたちだけでは不足する部分も、地域のみなさんに教えていただいて学ぶことがたくさんあります。今後は子育てグループや地域がさらに連携していかなければならないと思っています。そうすることで、私たち親自身もたくさんのことを学べますし、子どもたちが大きくなってふるさとを離れたとしても、いつか平戸に戻ってきってくれると思っています。



PROFILE



松山涼子 (37歳)
／紐差町

育児サークル「のびのびキッズ」は、毎週水曜日(10:00～12:00)に市ふれあいセンターで親子連れが集まり、おやつを作ったり、おもちゃ遊びなどをしてのんびり楽しく過ごしています。

濱崎幸恵さん
(育児サークル「なかよしクラブ」)

「心から信頼できる
たくさんの仲間と出会いました」

子育てをお母さん一人でやろうとしたら、とても大変です。育児とは、何かとストレスがたまるものなので、育児ノイローゼなどにかかる人も少なくありません。その結果、幼児の虐待などに発展している悲惨な事件も全国的に多くなってきています。一人では辛くて大変でも、みんなで話したりすることで楽になることもあります。また、子育ては自分以外の子どもを見ることも大事です。私は育児サークルを通じて、たくさんのお母さんと出会い、平戸で子育てをして本当に良かったと思います。表面上の付き合いではなく、心から信頼できる仲間と巡り会えたことが何よりの喜びです。これからも、みなさんとのコミュニケーションを大切にしながら、子育てを頑張っていきたいと思っています。



PROFILE



濱崎幸恵 (33歳)
／大久保町

育児サークル「なかよしクラブ」は、毎週月曜日(10:30～14:30)に、平戸市社会福祉協議会で親子連れが集まり楽しく過ごしています。読み聞かせや3日親子体操なども行っています。

Special Edition 「このまちが好きだから。」

人と人がつなぐ思いやりのハーモニー

地域で育てる平戸の宝



幼い頃を振り返ると、
数え切れないほどの愛情をもらって育った気がします。

両親はもちろんのこと、
近所のお兄ちゃんやお姉ちゃん。
近所のおじちゃん、おばちゃん。
誰もが声をかけてくれました。
誰もが叱ってくれました。
全国的に地域コミュニティの希薄化が
進んでいるといわれていますが、
平戸には今も人情味溢れる地域の絆があります。

平戸には、温かさがあります。
それは、人と人がつなぐ地域の温かさ。
平戸だからできる子育て。
愛情いっぱいの子育て。
平戸には、たくさんの子どもの笑顔が
溢れています。